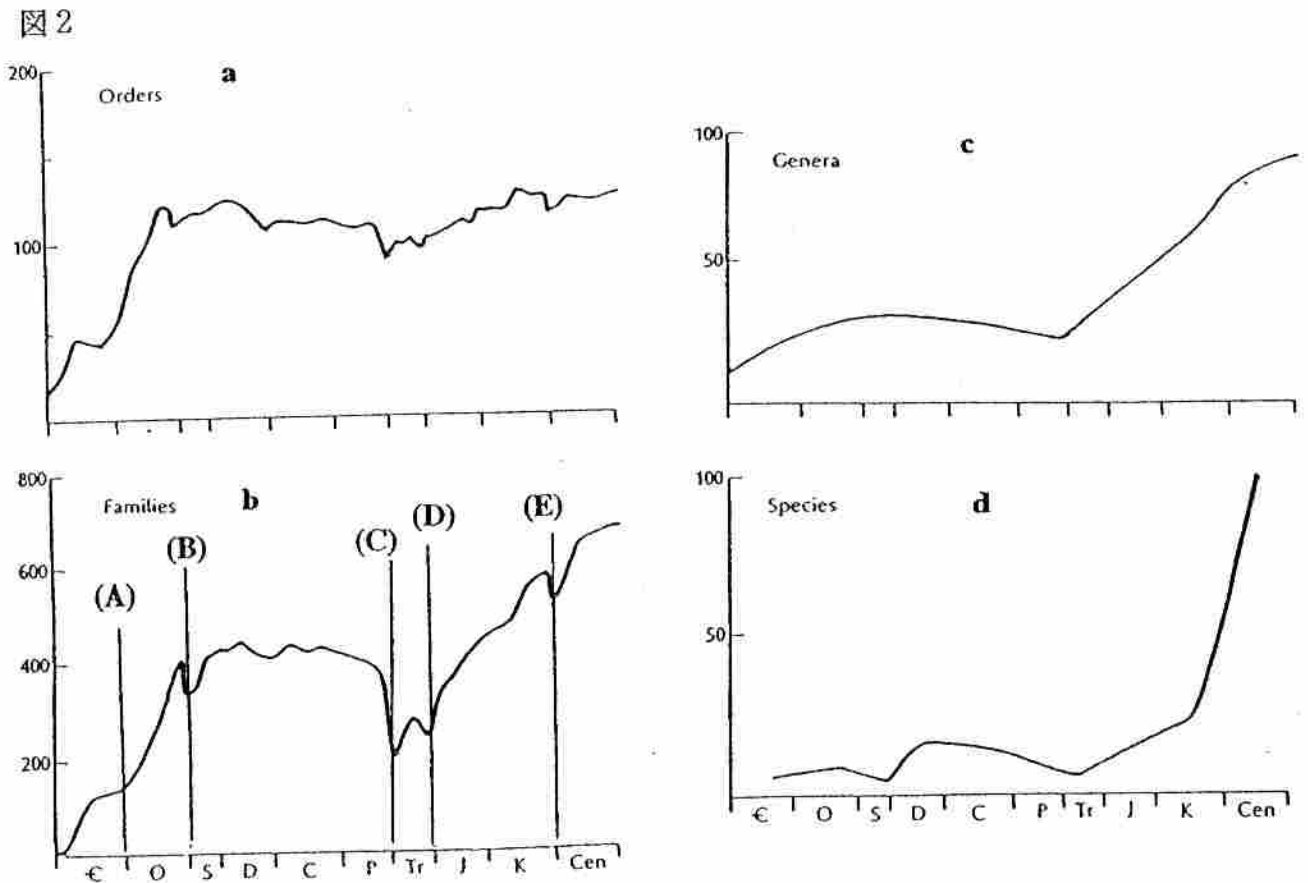


(問題3の続き)

問2 図2は顕生代の海棲動物の多様性の変化を、さまざまな分類の段階で示したものである。なお、各図とも横軸は時間を表し、縦軸は図 a, b では Order や Family の絶対数、図 c, d では Genus や Species の数を現在を 100 としたときの百分率で表したものである。以下の問い(1)~(3)に答えよ。

- (1) Orders, Families, Genera, Species を日本語に直せ。
- (2) 顕生代の海棲動物の多様性の変化(増加や減少)は、図2bで最も顕著に認められる。なぜ Family のレベルで見た時、多様性の変化が最も顕著に認められるのか。その理由を述べよ。
- (3) 古生代と中生代の境界、および中生代と新生代の境界を、図2b中の(A)~(E)から選び、それぞれ記号で答えよ。



問3 以下の語句(1)~(3)を説明せよ。

- (1) 模式標本(type specimen)
- (2) 同物異名(synonym)と異物同名(homonym)
- (3) 擬態(mimicry)